



出羽三山「生まれかわりの旅」

月山

湯殿山

日和山公園

羽黒山五重塔



JAPAN HERITAGE
日本遺産

フォトコンテスト

庄内日本遺産

[応募期間]

2017.

10/1日

2018.

3/31日



相馬樓

北前船寄港地・船主集落



サムライゆかりのシルク

旧西田川郡役所

旧遠藤家住宅

鶴舞園

松ヶ岡開墾場

庄内にある3つの日本遺産の構成文化財(建物や街並み、祭りなど)を撮影した作品を広く募集します。

[対象]

庄内の3つの日本遺産の構成文化財、
または構成文化財から見える景色を撮影した作品
※1箇所の撮影から応募可能です。構成文化財は裏面をご覧ください。

フィルム・デジタル 部門

[対象] 平成29年4月から平成30年3月までに撮影した作品
[応募方法]

- 氏名、住所、性別、年齢、電話番号
- 作品タイトル、作品の説明、撮影場所、撮影日、フィルム・デジタルのどちらかを明記して、郵送又はメール又は持参してください。

※郵送又は持参の場合は任意の書類に明記してください。

SNS 部門 (Facebook・Instagram)

[対象] 平成29年4月から平成30年3月までに撮影した作品
[応募方法]

Facebook

庄内観光コンベンション協会
Facebookページに撮影場所、
氏名、メールアドレスを入力し
写真データを添付して、メッ
セージで送付(応募)。

Instagram

庄内観光コンベンション協会公
公式アカウントをフォローし、
ハッシュタグ「#庄内日本遺産」
または「#shonaiheritage」
と撮影場所を明記して写真を投稿
します。

副賞

フィルム・デジタル部門

- 最優秀賞** (1点)
庄内の特産品3万円分
- 優秀賞** (3点)
同1万円分

SNS部門

- 最優秀賞** (1点) 庄内の特産品3万円分
- 優秀賞** (3点) 同1万円分のほかに
応募者の中から毎月抽選で
・羽黒山斎館へアお食事券
・相馬樓へア入場券(舞娘演舞鑑賞券付)
・致道博物館へア入場券
を1名ずつ、計3名にプレゼント

気軽に
応募しよう!



観光で
訪れた方も
どうぞ!

[募集要項]

- ・撮影場所ではあらかじめ撮影の可否をご確認いただくとともに、撮影禁止場所(館内撮影禁止等)が定められている場合は禁止場所で撮影することのないよう、十分注意したうえで撮影を行ってください。
- ・応募作品は、他のコンテストで入賞したり、印刷物、展覧会などで公表されたりしていないものに限り、公表されている事が判明したときは、主催者は入賞を取り消すことができます。
- ・応募作品の著作権は、撮影者にありますが、入賞作品の著作権は主催者に帰属するものとします。
- ・入賞作品の使用にあたっては、撮影者の氏名(SNSについてはアカウント名)表示を行います。
- ・被写体が人物の場合、主催者は肖像権侵害等の責任は一切負いかねますので、事前に本人(被写体)の許諾を得た上で応募してください。
- ・応募作品に関するトラブルが生じた場合は、主催者は一切その責任を負いませんので、応募者の責任で解決してください。
- ・応募点数の制限はありませんが、入賞は1人1点とします。
- ・郵送又は持参で応募された方のうち、応募作品の返却を希望する方は、切手を貼った返信用封筒に、郵便番号・住所・氏名を記載の上、応募の際に同封してください。
- ・お寄せいただいた個人情報は、応募者への通知、発送及び入賞作品の発表にのみ使用します。
- ・本コンテストは、Facebook及びInstagramが支援・承認・運営など関与するものではありません。応募者はFacebook及びInstagramの利用規約を遵守する必要があります。
- ・SNS部門に応募いただいた作品は、受賞や当選の有無に関わらず庄内観光コンベンション協会のFacebook及びInstagramに掲載させていただきます。(掲載に適さないと判断したものは除きます)

[主催・お問い合わせ]

〒997-1301 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1 庄内観光コンベンション協会 TEL:0235-68-2511 Mail:shonai@mokkedano.net

Facebook: <https://www.facebook.com/DewaShonai.SVA/>

Instagram: <https://www.instagram.com/explore/tags/#庄内日本遺産/> または、<https://www.instagram.com/explore/tags/#shonaiheritage/>



庄内日本遺産 フォトコンテスト 構成文化財



※1箇所の撮影から応募可能です。

2. 荒波を越えた男たちの 夢が紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落

〈酒田市中心部〉

- 1 日和山公園
- 2 旧燈屋
- 3 本間家本部
- 4 山王くらぶ
- 5 相馬屋主屋(相馬樓) ※館内撮影禁止
- 6 本間氏別邸庭園(鶴舞園)
- 7 塞道絵幕(大壽和里大祭事)
一酒井候御安堵祝宴一
- 8 酒田山王祭礼用亀笠鉾
- 9 酒田袖之浦・小屋之浜の図
- 10 鎌めぐり

※ただし7・9・10での撮影はできません。



1. 自然と信仰が息づく「生まれかわりの旅」

～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～

〈羽黒山とその周辺〉

- 1 羽黒山
- 2 羽黒山の随神門
- 3 羽黒山の石段
- 4 羽黒山のスキ並木
- 5 羽黒山の爺スギ
- 6 羽黒山五重塔
- 7 羽黒山南谷
- 8 羽黒山 斎館
- 9 羽黒山三神合祭殿
- 10 羽黒山蜂子神社
- 11 羽黒山正善院黄金堂
- 12 手向の宿坊街
- 13 松例祭の大松明行事
- 14 出羽三山の精進料理
- 15 羽黒山の峰入り

〈庄内町〉

- 16 羽黒古道
- 17 清川関所跡

〈月山とその周辺〉

- 18 月山
- 19 月山神社
- 20 八方七口

〈西川町〉

- 21 月山神社出羽神社湯殿山神社
摂社月山出羽湯殿三神社社殿
(旧日月寺本堂)
- 22 湯殿山神社(旧本道寺)
- 23 本道寺 代参塔群
- 24 湯殿山神社(旧大日寺)
- 25 大日寺 代参塔群
- 26 湯殿山とその周辺
- 27 湯殿山
- 28 六十里越街道
〈鶴岡市朝日エリア〉
- 29 旧遠藤家住宅
- 30 大日坊 仁王門
- 31 大日坊の皇壇スギ
- 32 注連寺 七五三掛桜

※ただし26 湯殿山の神社本宮での撮影はできません。



3. サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち 鶴岡へ

〈鶴岡市松ヶ岡エリア〉

- 1 松ヶ岡開墾場
- 2 松ヶ岡本陣
- 3 松ヶ岡蚕室群
- 4 松ヶ岡蚕室稲荷神社
- 5 松ヶ岡開墾士住宅

〈鶴岡市朝日エリア〉

- 6 旧遠藤家住宅
- 7 旧風間家住宅 丙申堂
- 8 風間家旧宅 表門
- 9 風間家旧宅 西側板塀
- 10 風間家旧別邸
無量光苑 釈迦堂
- 11 風間家旧別邸 土蔵

- 12 風間家旧別邸 表門
- 13 風間家旧別邸 中門
- 14 風間家旧別邸 北門
- 15 風間家旧別邸 板塀
- 16 旧渋谷家住宅
- 17 旧西田川郡役所
- 18 旧庄内藩主御隠殿
- 19 庄内藩校致道館
- 20 羽前絹練株式会社



1 自然と信仰が息づく 「生まれかわりの旅」

～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～



構成文化財：
羽黒山、旧遠藤家住宅、六十里越街道など

山形県の中央に位置する出羽三山の雄大な自然を背景に生まれた羽黒修験道では、羽黒山は人々の現世利益を叶える現在の山、月山はその高く秀麗な姿から祖霊が鎮まる過去の山、湯殿山はお湯の湧き出る赤色の巨岩が新しい生命の誕生を表す未来の山と言われます。

三山を巡ることは、江戸時代に庶民の間で『生まれかわりの旅』として広がり、地域の人々に支えられながら、日本古来の、山の自然と信仰の結び付きを今に伝えています。羽黒山の杉並木につつまれた石段から始まるこの旅は、訪れる者に自然の霊気と自然への畏怖を感じさせ、心身を潤し明日への新たな活力を与えます。

(申請書ストーリー概要より)

2 荒波を越えた男たちの 夢が紡いだ異空間 北前船寄港地・船主集落



構成文化財：
日和山公園、本間氏別邸庭園(鶴舞園)など

日本海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

(申請書ストーリー概要より)

3 サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち 鶴岡へ



構成文化財：
松ヶ岡開墾場、旧西田川郡役所など

山形県鶴岡市を中心とする庄内地域は、旧庄内藩士が刀を鋏に替えて開拓した、松ヶ岡開墾場の日本最大の蚕室群をきっかけに国内最北限の絹産地として発達し、今も養蚕から絹織物まで一貫工程が残る国内唯一の地です。

鶴岡市では、松ヶ岡以外にも六十里越古道沿いの田麦俣集落に、四層構造で暮らし・養蚕などが一つの建物にまとまった多層民家が現存しています。さらに、国内ではここだけの精練工程が明治時代創業の工場で行われるなど、絹産業の歴史、文化が保存継承とともに、新たな絹の文化価値の創出にも取り組んでいます。鶴岡を訪れると、先人たちの努力の結晶である我が国近代化の原風景を街並み全体を通じて体感することができます。

(申請書ストーリー概要より)